

園だより



第 6 号

令和 2 年 8 月 3 1 日

ばんけい幼稚園

他の人のことも考えて

園 長 加 藤 邦 彦

外で遊んでいた年少さんの男の子が、急にトイレに行きたくなったので、私が付き添いました。付き添いが終わって男の子と手を洗おうとした時に、女の子のトイレでスリッパを履きやすいようにきちんと並べている子がいました。私は「みんなのためにしてくれてありがとう。立派ですね。」とほめてあげました。その子は恥ずかしそうな嬉しそうな顔でした。思いやりの心がしっかりと培われている姿を目の当たりにして感動しました。

成長を感じる子どもの姿

子どもたちは時より“いつの間に！”という一面を見せてくれます。先日、どんぐりクラスの親子が芋ほりに来ていた時、好きな遊びをしている緑組の子たちの砂場で遊び始めてしまい、体育館に戻らなければならない時のことです。お母さんが声をかけても動かない状況にその子の手をつなぎ、そっと背中を押したりしながら上手に体育館のほうへ連れていく緑組のお姉さん3人組。そのどんぐりの子はニコニコしながら体育館に帰ってきたのです。4人で手をつなぎながら…。僕は、「ありがとう」とだけ声を掛けましたが、そのあと村田先生が「誰か先生に頼まれたの？」と聞いたそうです。その答えが「い～や！お母さんがすごく困っていたから」と言ったのだそうです。そのお母さんも素直に歩くお子さんにびっくり、微笑ましい場面でした。バスの中や、お部屋でも年少さんに対して優しく接する年中・年長の様子が見られ、マスクをうまくつけられない子に、一生懸命つけてあげたり、帽子を被せてほしいというお願いを聞いてあげたりする姿。毎朝玄関から赤組の部屋へ連れてきてくれる姿。自分が年少の時は自分のこともままならなかった子たちが“いつの間にか”お兄さん・お姉さんになっている姿にほっこりすることが多々あります。

村田・日詰